

平成29年度 港まちづくり協議会事業計画

○：心地よく安心な港まちで暮らす

○－(1) 防災・減災まちづくりの推進

■ねらい	○津波・液状化対策や観光客への対応など、港まちならではの課題に挑戦するまちづくりを推進する。
■概要	○学区連絡協議会・小学校などの教育機関・地元企業・行政等と協働した防災・減災の取り組みを実施し、他の地域へのモデルとして発信していく。 ○防災・減災勉強会等を実施して、活動の担い手の発掘・育成を行う。

○－(2) AED 活用の促進

■ねらい	○港まちを中心としたエリアにおける AED の活用を促進する。
■概要	○AED の設置個所を明記した既存マップを更新し、緊急時に誰もが AED を有効に活用できるようにサポートする。 ○学区連絡協議会や企業、教育機関等と協働し、AED の使い方講習会を実施する。

○－(3) コミュニティ活動の推進

■ねらい	○港まちの日常を豊かにするコミュニティ活動と協働を図り、より多くの人々が関われる事業を展開していく。
■概要	○平成28年度の成果を引き継ぎつつ、地域のニーズに即した事業を検討・展開し、住民の方々が楽しく交流できる場づくりを行うこととする。 ○各事業を前・後期に分けることで、前期における参加者の声・改善点等を後期に活かし、より充実した事業が展開できるようにしていく。

○－(4) 港まち文庫事業

■ねらい	○港まちの拠点に文庫を設置し、より多くの人々がお気に入りのスポットで読書を楽しめるようにして、広く生涯教育に貢献する。
■概要	○西築地小学校・西築地小学校トワイライトスクール、Minatomachi POTLUCK BUILDING の港まち文庫の利活用を促進する。 ○地域に親しまれやすい場所に新たな港まち文庫の開設を検討する。 ○各種のイベント事業等においても文庫の活用を検討する。

△：魅力的でにぎやかな港まちに集う

△－(1) 地藏盆まつり

■ねらい	○夏の恒例イベントとして開催されてきた「地藏盆まつり」と連携し、港まちならではの魅力づくりに貢献する。
■概要	○夏の港まちのお祭りムードを締めくくるイベントとして、地域内外の老若男女が楽しめるコンテンツにする。 ○各種の団体・NPO・事業者等との交流も促進し、地域に根付いた魅力的なイベントにしていく。

△－(2) 名古屋みなとをどい

■ねらい	○踊りが盛んな港まちの特徴を活かし、地域の皆さんと一緒に作りあげていく参加型の公演会を実施する。
■概要	○「踊り」「伝統芸能」をキーワードに、新しい団体の発表の場をつくり、地域の方との交流の機会をつくる。 ○港まちづくり協議会が実施する他のアートやクリエイティブな事業との連携も検討していく。

△-(3) アッセンブリッジ・ナゴヤとの連携事業

<p>■ねらい</p>	<p>○名古屋市等が開催を予定している「アッセンブリッジ・ナゴヤ」と連動し、港まちに音楽やアートなどのクリエイティブな人が集う場や機会を提供する。</p> <p>○港まち内外の方と、音楽やアートを通じた新たな交流の機会をつくり、港まち界隈の賑わいづくりに貢献する。</p>
<p>■概要</p>	<p>○実行委員会と連携し、港まちの地域の方にも参加し楽しんでいただけるプログラムを実施する。</p> <p>○イベント期間に限らず、港まちで音楽やアートを楽しめる機会を提供する。</p> <p>○港まちの地域資源を訪れるツアー等のサイドイベントを組み込んで、イベント全体の盛り上げを支援する。</p> <p>○地域内外の方をボランティアとして迎え入れ、実施者としてもイベントを楽しむ港まちのファンづくりを行う。</p>

□：みんなと港まちを創る

□-(1) 港まちづくり協議会の新たな広報ツールの作成

<p>■ねらい</p>	<p>○港まちづくり協議会が主催する事業に関する情報や西築地学区を中心とした港まち界隈の地域情報を発信する。</p>
<p>■概要</p>	<p>○港まちづくり協議会の主催事業等を効果的に発信するツールを作成する。</p> <p>「ぶらり港まち新聞」のコンセプトを引き継ぎ、港まちの地域資源に注目し、固有の施設や行事、または人物の関連情報等を効果的に発信する。</p> <p>○地域住民の皆さんには、取材対応や情報提供をいただき、編集・デザイン・出版のプロなどと相談しながら事業を推進する。</p>

□－(2) 提案公募型事業

■ねらい	○港まちづくり協議会の活動に、新たな風を呼び込む機会として提案公募型事業を実施する。
■概要	○地域課題を提示して解決策となる事業を募集する。 ○事業者向けに相談窓口を常設し、事業申請をサポートする。 ○募集時期を1期と2期に分けて行い、審査会を経て委託事業を選定する。 ○委託団体の事業概要を把握して、事業が効果的に実施できるように広報などのサポートを行う。

□－(3) み(ん)なとまちの拠点活用事業

■概要	○Minatomachi POTLUCK BUILDING 1階の情報センターを活用し、観光客を中心に港まちを訪ねる人に向けた情報発信を行う。 ○Minatomachi POTLUCK BUILDINGの活用事業(2階、3階)を実施する。
■内容	○拠点1階を情報センターとして、港まちの店舗やイベント情報を来場者に紹介すると共に、「POTLUCK SCHOOL」などの講座を開催し、地域の方と共に、港まちの今後について意見交換を行う。 ○拠点2階を多目的スペースとして、コミュニティ活動の実施会場などとして活用する。 ○拠点3階をアートスペースとして、アーティストやクリエイターの作品制作の場を提供する。制作過程を公開し、地域住民との交流の機会とする。

□－(4) 調査検討事業

■ねらい	○今後に予定をしている事業などの調査研究やパイロット事業を実施する。
■概要	○今後に予定、検討していく事業(空き家活用の公募型事業など)に関するパイロット的な取り組みの実施や先進事例の調査研究などを行う。 ○今後の港まちづくり協議会の中長期目標の設定、事業評価等について検討する。 ○必要に応じて、住民意向調査・ステークホルダー分析などを実施する。 ○先進事例地域を訪問し、関係者と意見交換を行い、これからの港まちづくり協議会の事業に活かす。

□－(5) 広報活動

■概要	○港まちづくり協議会で検討された事柄や実施する事業について、地域住民の皆さんをはじめ広く一般に知らせる。
■概要	○広報紙の作成、ホームページ運営など。 ○年次報告書の作成など。

□－(6) 事務局運営経費

■概要	○協議会の事務局運営に必要な経費
■概要	○事務所の借上げ費、複合機等のリース料、事務局職員の人件費、税理士の顧問報酬費、電気、上・下水道使用料など。